

お墓の地震対策 実績ある大野屋の 耐震施工なら安心です。

■阪神淡路大震災以降に開発された 縦揺れに強い接着工法。

大野屋は、平成8年(阪神淡路大震災の翌年)以降すべての工事に当社開発の接着剤ボンドによる耐震施工を採用しております。

以前は厚いステンレス管をさお石と台とを繋ぐ方法もありましたが、阪神淡路大震災の時に多くの墓石が上下の揺れで飛び上がり、倒れてしまいました。その反省から、同程度の地震に耐えられるように接着工法を開発し、それ以降はその工法で施工しております。

耐震接着ボンドメモリアル96EX10



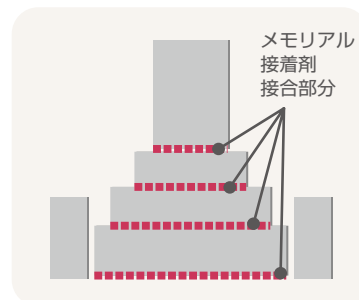
震度7にも対応!

■12年間約50,000件以上の施工で いまだ異常無しの実績。

大野屋の耐震施工は、石碑を取り外し、面と面を強力ボンドで接着します。従来の構造物を頑丈にする施工では、石材内部や周辺構造への影響があることから、近年脚光を浴びている免震工法を採用。地盤の揺れを吸収し、揺れに逆らわず、可能な限り地震エネルギーを逃がす方法で墓石を守ります。

ここ12年間で約50,000件以上の施工実績があり、10年後のサンプル調査でも、1件の異常も見つかっていません。

横揺れにも強い免震工法の接着面



当社オリジナル「メモリアル接着剤」は、成分配合によって切断が無いようエネルギーを吸収。推定震度7までクリアしました。(当社単独耐震実績より)